

2014年10月28日
SoftBank Internet and Media, Inc.
ANI Technologies Pvt. Ltd.

SoftBank Internet and Media, Inc.主導による インド オラへの総額2億1,000万米ドルの出資について

SoftBank Internet and Media, Inc. (CEO：ニケシュ・アローラ、以下「SIMI」)と ANI Technologies Pvt. Ltd. (所在地：ムンバイ、CEO：バーヴィッシュ・アガーワル、以下、通称「オラ」)は、オラに対し、SIMI 主導で既存株主とあわせて総額2億1,000万米ドル(約227億円*)の出資を行うことについて正式合意しました。

オラは、2011年の創業以来、インドにおける最先端のタクシー配車プラットフォーム事業者として事業を拡大してきました。オラは、同社の技術プラットフォームを通じて、利用者と運転手をつなぐマーケットを提供しており、利用者は、スマートフォンのアプリケーションやウェブサイト、またはコールセンターで配車予約をすることができます。現在、オラはインド国内主要19都市において、車両を3万3,000台以上配備しています。SIMIは、この戦略的投資とパートナーシップを通じて、インド国内においてソフトバンクグループのプレゼンスをさらに高めるとともに、グループ内のインターネット企業群と連携によるシナジー創出を目指します。

ソフトバンク株式会社の代表取締役社長である孫正義は以下のように述べています。「ソフトバンクは創業以来、『情報革命で人々を幸せに』という経営理念のもと、事業を進めてきました。インドは現在さらなる発展に向けてターニングポイントを迎えており、今後十年に渡り、力強く成長し続けると確信しています。この確信のもと、インド市場の発展をサポートするため、今後数年インドに戦略的投資をしていきたいと考えています」

ソフトバンク株式会社のバイスチェアマンおよび SoftBank Internet and Media, Inc.の CEOであるニケシュ・アローラは以下のように述べています。

「インドはインターネット人口が世界3位であるものの、Eコマース市場規模はあまり大きくありません。この状況はインドには、より良く、早く、安いインターネット環境が構築されれば、大きく成長する可能性があることを意味します。このたびのソフトバンクの出資は、インドの未来のITに向けたインフラ構築への貢献につながります。われわれは、バーヴィッシュのような素晴らしい、ITの未来を担うリーダーや起業家をサポートしたいと考えています」

オラの共同創業者兼CEOのバーヴィッシュ・アガーワルは以下のように述べています。

「われわれは、オラの著しい成長スピードに誇りを持っています。オラはインドにおけるモバイルインターネット革命の最先端におり、出資者かつ世界中にネットワークを持つ戦略的パートナーであるソフトバンクは、これまでの経験や知識をオラの今後の成長に生かしてくれるでしょう。われわれは、インド国内においていつでもどこでもシームレスな移動を可能にするというビジョン達成を目標に、運転手たちが自立してスキルを高めていけるエコシステム作りに注力していきます」

このたびの出資により、ニケシュ・アローラがオラの取締役役に就任する予定です。

ソフトバンクの法律顧問は Morrison & Foerster LLP、財務アドバイザーは The Raine Group LLC です。

※1 米ドル=108 円で換算した場合

オラ (ANI Technologies Pvt Ltd.)について

ANI Technologies Pvt Ltd.は、2011年1月にインド工科大学ボンベイ校の卒業生であるバービッシュ・アガーワルとアンキット・バーティによって設立されました。オラは、インド国内においてタクシー配車予約を行い、簡単に利用者とドライバーをつなぐことを可能にするスマートフォンのアプリケーションです。オラは、安全で信頼のできる交通手段を探す利用者と運転手の両者に、便利で迅速なサービスを提供しており、利用者は、スマートフォンのアプリケーションやウェブサイト、またはコールセンターで配車予約をすることができます。利用者は、インド国内 19 都市（ムンバイ、バンガロー、デリー、チェンナイ、プネー、ゴア、ジャイプル、チャンディーガル、ハイデラバード、アフダマーバード、インドール、ラクナウ、ルディヤーナー、アムリトサル、スーラト、ヴィシヤーカパトナム、近々ナーシク、ナーグプル、コーヤンブットゥールでもサービス拡大予定）において 3 万 3,000 台から配車予約を行うことができます。